（別紙３）

○事業所名	放デイひまわり袋井駅北口校			
○保護者評価実施期間	2025年　12月　1日	～	2025年12月15日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	11名	（回答者数）	
○従業者評価実施期間	2025年　11月16日	～	2025年　12月　4日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	3	（回答者数）	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　12月　8日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の情報共有がなされている 職員間コミュニケーションが良好で、支援も円滑な場面が多い。	意識的に情報共有の場を設けている 職員が分からないことをそのままにしないようにしている。	常勤が入れ替わる為、新たな信頼関係を作っていく 利用児が新しい職員と関わりたい気持ちを見落とさないようにしていく。 利用児の成長に伴って意思の表出をサポートする。
2	引っ越しにより、利用児が自由に動けるスペースができた。トイレも広く、介助スペースができたので、トイレに座る選択肢が増えた。	指、体の使い方を見ながら個々に合った方法を探している。	新しい職員にも理解しやすいよう情報を伝える
3	理学療法士がいる	利用児同士コミュニケーションが取れるよう、顔が見える場で活動し、他者を意識できる声掛けを行っている。	活動のバリエーションを増やし、更に充実した時間を過ごせる等にする

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	まだ新校舎に慣れていないため、きめ細かな支援が難しい場面がある。	既存の常勤が退職したため	分からないことをそのままにせず、職員間での情報共有を行う。 職員の働きやすい環境を整える必要がある
2	常勤の保育士、手技の安定した看護師が不在		療育に関して、他事業所の保育士にも助言を求める
3	一軒家	部屋が仕切られており、子どもの見守りがしにくい場面がある	支援中の職員間の声掛けで、利用児がどの部屋にいるのか全員で把握しながら支援を行う。